

- 問1 岐阜県の県境付近にそびえる山々を水源とし、伊勢湾などの海へ注ぐ木曽三川（木曽川・長良川・揖斐川）などの河川について、その地理的な特徴を説明した文として正しいものはどれですか。（2024年 東京都公立入試 類似）

1. 水源から河口まで一貫して緩やかに流れを保ち、大規模な水運の拠点となっている

2. 山間部から直接東へ流れ、県境を越えることなく最短距離で太平洋へ注ぐ

3. 火山のある半島を迂回するように流れ、広大な平野で大規模な稲作を支える

4. 上流部で深い渓谷を形成し、流路を大きく西に変えて隣接する県を通って海へ注ぐ
- 問2 福井県南部の若狭湾で見られる、山地が海に沈んだり、海面が上昇したりすることで形成された複雑に入り組んだ海岸地形を何と呼びますか。また、その地形の利点を踏まえて答えなさい。（2023年 長崎県公立入試 類似）

1. 砂州

2. カルデラ

3. 三角州

4. リアス海岸
- 問3 静岡県島田市の地形図において、権現原周辺に茶畑の地図記号が広く見られる理由として、この地域の自然環境や地理的条件から説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2015年 千葉県公立入試 類似）

1. 島田駅や図書館などの公共施設が南側に集まっており、都市部での消費が期待できるため。

2. 大井川から大量の水を引くことが容易であり、常に湿潤な土地を好む茶の性質に合っているため。

3. 寒冷な気候に強く、雪の多い地域でも安定して収穫できる作物として推奨されたため。

4. 大井川沿いの台地で水はけが良く、温暖な気候が茶の生育に適しているため。
- 問4 河川が山地から平野や盆地に出た場所では、流れが緩やかになることで運搬されてきた土砂が堆積し、扇形の地形が形成されます。山梨県の甲府盆地の縁などで多く見られる、このような地形の名称として正しいものを答えてください。（2018年 群馬県公立入試 類似）

1. 扇状地

2. 台地

3. 三角州

4. カルデラ
- 問5 中部地方で見られる「6月から10月にかけての収穫量が、11月から5月の収穫量を大幅に上回る」というレタスの生産状況を説明した文として、適切なものはどれか、選びなさい。（2016年 岐阜県公立入試 類似）

1. 夏の涼しい気候を利用した抑制栽培が行われ、出荷時期を平地とずらしている

2. 機械化が進んだ大規模な農地で、年に2回異なる農作物を栽培している

3. 冬の温暖な気候とビニールハウスを利用した促成栽培が行われている

4. 大消費地である東京や名古屋に近いため、通年で新鮮な野菜を出荷している
- 問6 中部地方の内陸部に位置するある県では、農産物の収穫量において米が約2万7000トンであるのに対し、ブドウが約4万3000トンに達するなど、果樹栽培が極めて盛んです。ブドウの生産量が日本一であるこの県はどこですか。（2020年 愛媛県公立入試 類似）

1. 長野県

2. 山形県

3. 青森県

4. 山梨県
- 問7 2014年の工業統計において、愛知県と静岡県の製造品出荷額の内訳を確認すると、ある共通の工業部門が非常に高い割合を示しています。特に愛知県では県全体の出荷額の約半分を占めるこの工業部門の名称として、正しいものはどれですか。（2017年 奈良県公立入試 類似）

1. 金属製品製造業

2. 輸送用機械器具製造業

3. 繊維工業

4. 電子部品・デバイス工業
- 問8 福井県において、北陸新幹線の延伸開業に向けた整備が進められている主な背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。（2020年 東京都公立入試 類似）

1. リニア中央新幹線の代替路線として、世界最速の時速500kmでの営業運転を実施するため。

2. 高速輸送ネットワークを構築し、関東や近畿などの大都市圏との移動時間を短縮して交流を促すため。

3. 在来線の特急列車をすべて廃止し、県内の移動を新幹線のみに限定して運営の効率化を図るため。

4. 貨物列車の専用路線を確保することで、農産物や工業製品の長距離輸送コストを大幅に削減するため。
- 問9 中部地方の各県の工業出荷額の内訳をまとめた統計において、輸送用機械の割合が極めて高い愛知県や静岡県に対し、食料品、化学工業、電子部品・デバイス工業などがバランスよく含まれていることが特徴である県はどこですか。（2024年 静岡県公立入試 類似）

1. 長野県

2. 富山県

3. 福井県

4. 石川県
- 問10 日本の本州中部において、日本海側に面しており、戦国時代には上杉謙信が拠点としたことで知られ、現在は越後平野を中心に米の生産が非常に盛んな都道府県はどこか。（2021年 北海道公立入試 類似）

1. 富山県

2. 長野県

3. 埼玉県

4. 新潟県
- 問11 新潟県や富山県といった北陸地方の県における、土地利用の統計的な特徴について述べた文として、正しいものはどれですか。耕地面積全体に占める「田」と「畑」の割合に着目して答えなさい。（2017年 千葉県公立入試 類似）

1. 耕地面積のうち、田の占める割合が80%を超える非常に高い水準にある

2. 耕地面積のうち、田と畑がほぼ50%ずつで、混合農業が盛んである

3. 果樹園などの畑地利用が中心であり、田の面積は10%未満である

4. 都市化が進んでいるため、田の面積は耕地全体の30%以下に留まっている
- 問12 岐阜県の白川郷に見られる「合掌造り」の家屋は、屋根の形が手を合わせたような急傾斜になっています。このような独特な建築様式がこの地で発達した理由として、地理的な背景から説明したものとして最も適切なものを選びなさい。（2026年 三重県公立入試 類似）

1. 山間部で平地が少ないため、屋根の傾斜を急にして建物の高さを出し、居住スペースを縦に広げるため

2. 夏に発生する激しい上昇気流による雷雨から家屋を守り、雨水を素早く地面に流す必要があったため

3. 冬の積雪が非常に多く、屋根に積もった雪の重みによる倒壊を防ぐとともに、雪下ろしの負担を軽減するため

4. 日本海側から吹きつける強い季節風を受け流すことで、建物全体の揺れを抑えて耐久性を高めるため
- 問13 近年、日本の地方都市では、自動車への過度な依存を抑え、鉄道やバスなどの公共交通機関の拠点周辺に行政・福祉・商業などの機能を集約させる都市づくりが進められています。このような、徒歩や公共交通で日常生活に必要な機能を利用できる効率的な都市形態を何と呼びますか。（2024年 東京都公立入試 類似）

1. ニュータウン

2. コンパクトシティ

3. メガロポリス

4. スマートシティ
- 問14 富山県を含む北陸地方では、かつてアルミニウム工業が盛んに発達しました。アルミニウムの製錬には極めて大量の電力を必要とすることを踏まえ、この地域に産業が集積した理由として最も適切な説明を選びなさい。（2023年 富山県公立入試 類似）

1. 北陸新幹線の開通により、製品を消費地である首都圏へ高速輸送できるようになったため

2. 大規模な火力発電所が建設され、海外から輸入した石炭を安く利用できたため

3. 広大な平野部を利用して大規模な太陽光発電が行われ、電力を自給できたため

4. 急流河川を利用した水力発電によって、安価で豊富な電力が得られたため